

# べと病 (Downy mildew)

*Plasmopara viticola*



葉裏の病斑



激しく発病した葉

## 発生生態

葉、果実等に発生します。葉では裏側に白いカビを生じ、発病が激しいと落葉します。幼果では発病部の果実表面が鉛色になり、硬くなって脱粒します。5月下旬頃から発生しやすくなり、風雨により感染が広がります。

## 防除対策

発病した落ち葉は翌年の発生源となりますので、土中に埋めるか、焼却処分します。葉が5～6枚開いた頃から定期的に薬剤防除を行います。発病してからの防除では手遅れとなります。果実の袋掛けを早めに行うと、果実への感染防止を図ることができます。雨よけ栽培により被害が少なくなります。